平成 29 年度「山梨大学助産外来研修会」の開催について

１．　趣旨

助産外来と院内助産からなる「院内助産システム」は妊婦さんの「満足度」を高め、「安全性」も担保することを目標としたものであり、山梨大学では全国の大学病院に先駆けて院内助産システムの開設し、さらに助産師の教育制度についての研究を進めてきました。

まず平成２１年より 8 年間「助産外来研修会」を開催し、これまで山梨県内外の総勢 188 名の助産師の方々が助産外来資格を認定されており、徐々に各医療機関で助産外来が開設されているようです。

平成 29 年度も引き続き「助産外来研修会」を開催したいと思いますので、ふるってご参加下さい。

さらに、平成 22 年度から 7 年間にわたり「院内助産研修会」も開催し、会陰裂傷縫合の初歩的な実習、経腟エコーシミュレータを含む実習を行いました。資格試験を行い、これまで山梨県内の総勢 127 名の助産師の方々が院内助産資格認定されており、院内助産も徐々に開設されているようです。後日、院内助産研修会のご案内もさせていただく予定ですのでよろしくお願いします。

２．　主催等

山梨大学医学部地域周産期等医療学講座、山梨大学医学部産婦人科講座、山梨県

３．　実施時期

平成 29 年 7 月 23 日（日）９時～17 時ごろ

４．　研修会の内容

（１）　対象者：

助産外来研修会：助産師免許取得後 3 年程度の経験を持つ助産師

（2） 募集人数：20 人程度
（3） 料金：無料
（4） プログラム

平成 29 年度　助産外来研修会予定

講義、実技
平成29 年 7 月 23 日（日）

1. 産科医から　　山梨大学医学部産婦人科講座　平田修司

2. 院内助産システムマニュアルについて（助産外来編）
山梨大学医学部地域周産期等医療学講座　渡邊弓花

3. 助産師外来を実践しての現状と課題
山梨大学医学部附属病院産科病棟

4. 「産婦人科診療ガイドライン産科編 2014 妊娠中の管理」について
山梨大学医学部地域周産期等医療学講座　奥田靖彦

5. 助産外来における超音波検査（講義）
山梨大学医学部地域周産期等医療学講座　奥田靖彦

6. 超音波トレーニングシュミレーターによる超音波断層法の実際
山梨大学医学部地域周産期等医療学講座　　奥田靖彦、渡邊弓花

7. 筆記試験

＊上記の講義の順番は適宜変更します。また、適宜休憩、昼食の時間を設定します。
＊終了は１６～17 時ごろを予定しています。

(5) 場所

山梨大学医学部（玉穂キャンパス）融合研究棟４階会議室

広域マップ

所在地：〒409-3898　山梨県中央市下河東 1110

⑹ 応募方法、連絡方法について

＊出席希望の方は、別紙申し込み用紙の内容を６月３０日までに FAX あるいは e-mail してください。

＊用紙が足りない場合はコピーしていただくか、連絡を頂けたらメールにてファイルを送ります。

助産外来研修会申し込み用紙

FAX 055-273-8719

名前 _____

助産師免許取得年 _____

勤務先名 _____

勤務先住所 _____

勤務先電話番号 _____

e-mail address （後日連絡をしますので間違いのない様にお願いします。）

_____

山梨大学医学部地域周産期等医療学講座　奥田靖彦、渡邊弓花
連絡先　tel 055-273-9632
e-mail: yumikaw@yamanashi.ac.jp

平成２８年度院内助産研修会予定（詳細は未定です）

1. 院内助産システムマニュアルについて（院内助産編）
2. 新生児の診察（新生児ビリルビン検査、血糖検査、聴覚スクリーニング検査）
3. 産科ガイドライン 2014 分娩編１
   -微弱陣痛への対応、分娩誘発の方法、子宮収縮薬の使用法など
4. 産科ガイドライン 2014 分娩編２
   -分娩監視の方法、CTG 判読法について
5. 妊産婦の入院時診察、退院時診察、１か月健診について
6. 超音波トレーニングシミュレータによる経腟超音波断層法の実際
7. 院内助産を実践しての現状と課題
8. 母体の異常事態（子癇発作、塞栓症など）に対する対応法
   産婦人科的 BLS、ACLS
9. 会陰裂傷縫合の初歩的な実技